



この線路は、 上海につながってました。

長崎と上海を海路で結ぶ日華連絡船が就航したのは1923年。
その7年後には、長崎駅から出島岸壁の乗船ターミナルまで、
旅客と貨物を運ぶための線路が敷かれました。
東京を出発した夜行特急列車は、関門トンネルをくぐり、長崎港の連絡船へ。
まさに陸つづきで直結していたというわけです。
長崎駅から長崎港（ながさきみなと）駅への廃線跡を歩きながら、往時の繁栄を想像していると…。
「長崎本線の終点は長崎駅でなかった」という歴史を、
鉄道ファンでも知らない人が多いという話を聞きました。

海外航路に直結 旧長崎本線

長崎で、会いましょう。

